テーマ　表現していく看護観　　-3年間で育む看護観-

カテゴリー：①教育課程　　学校概要：島根県立松江高等看護学院　松江市西嫁島2-2-23　2年課程　定員37名　修業年限3年

本校は、2年課程昼間定時制、修業年限3年の准看護師資格取得者のための、設立50周年を迎えた学校です。学生は、病院や施設で勤務しながら、母親として子育てしながらなど、多くの役割を果たしながら通学して頑張っています。

「人間愛に基づく生命の尊厳と個人の尊重を基本とし、社会に貢献できる有能な看護実践者の育成をめざす」という教育理念に沿った、卒業生像を期待し、学習進度にあった看護観の育成に取り組んでいます。

1年

看護学概論では、看護師の先輩である教員と3年生の看護観を聞き、多くの看護観に触れ、自分達の理想の看護師像を想像してみる。

↓

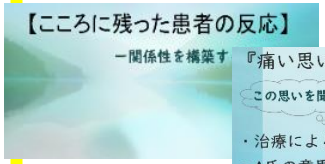
グループごとに、理想の看護師像を画用紙1枚で表現





2年

基礎看護学実習での「心に残った看護場面」から学んだことを発表。



『痛い思いはしたくない、
この思いを聞き　残りの人生は楽しく過ごしたい』

・治療による苦痛を避けたい
・A氏の意思を尊重したい気持ち、治療を行い退院後も元気に過ごしてほしいという気持ちの間で葛藤していた。
・受容するまでに時間や十分な説明が必要であった。
・A氏は学生に思いを表出し、孤独感の軽減、感情の整理や信頼関係の構築、精神的な安定が図れていた。

自分の気付きや学び

【信頼関係の構築】
・患者の言葉に耳を傾け、共感する姿勢を示すこと
・信頼関係を築き、安心して療養生活を送れるよう支援することが大切

【個別性を尊重した看護】
・患者の意思を尊重し、ニーズや思いを受け止めることが重要
・個別性を考慮した関わりの大切さを学ぶ

【患者視点に立つことの大切さ】
・葛藤した自身の気持ちも受け止め、医療者としての立場を忘れずに患者視点に立ち看護を行うことが大切
・実践を通して、患者視点の重要性を学んだ

【生活習慣への介入】
・患者の今後の生活への影響を考慮し、正確な情報提供や慎重な声掛けを行う必要性がある
・患者の生活習慣や日常生活への介入の重要性が学べた

領域実習に向けて・・・
1人1人の状況に合わせた個別性ある看護を大切にし頼りやすいと思われる関りを実践したい

3年

実習領域ごとの学びのレポート発表

＋

理想の看護師像という自分の夢に向かって「夢の実現過程」を領域ごとに表現





3年間で、自分にとっての「看護」を問い続け、その都度表現し、看護倫理や看護観が育まれ、成果物も残っていくことで、看護観と向き合い続ける看護師になってくれていることを期待しています！